公立高校入試情報　　京都府

【数学】

令和5年度京都府入試の全体傾向

○大問数は６問，小問数は20問で例年どおり。
○大問１は各領域の小問集合，大問２は空間図形と三平方の定理，大問３は確率，大問４は関数の利用，大問５は円と三平方の定理，大問６は規則性（図形）の問題が出題された。
○大問１で，「箱ひげ図」をかく問題が初めて出題された。与えられたデータを正確に読み取る力が必要。
○証明問題など記述式の問題は出題されない。問題構成に例年大きな変化はないので，過去問に取り組みしっかり慣れておきたい。

■　関数の利用の問題の出題

・関数で表される関係について，グラフを使って考えたり，関数の式を利用して解く問題がよく出題されている。

■　規則性を発見する問題の出題

・数や図形の規則性に関する問題がよく出題されている。数多く問題にあたって，慣れておく必要がある。

★京都府入試出題内容別・形式別傾向分析（過去4年間）

		単元名／項目	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
出題内容別の傾向	1年内容	正の数・負の数	●	●	●	●
		文字と式		●	●	●
		方程式			●	
		比例と反比例				●
		平面図形		●		
		空間図形	●	●	●	●
		データの分析と活用		●		
	2年内容	式の計算	●	●		●
		連立方程式	●		●	●
		1次関数	●	●	●	●
		図形の調べ方			●	●
		三角形			●	
		平行四辺形				●
		確率	●	●	●	●
		データの比較と箱ひげ図				●
	3年内容	式の計算		●	●	●
		平方根	●	●	●	●
		2次方程式	●	●	●	●
		関数$y=ax^2$	●	●	●	●
		相似な図形	●	●	●	●
		円の性質	●		●	●
		三平方の定理	●		●	●
		標本調査	●		●	
出題形式別の傾向	大問数		6	6	6	6
	小問数		20	20	20	20
	記述問題	図形の証明(説明)				
		その他の説明・証明など				
		立式・解法の過程の記述				
		作図(図形)				
		作図(グラフ)	1		1	1